

THE ENICHI

恵 日

第40回総会記念号—正信の道—筋に—



心の宝をつむ正信の指標

2010 増刊号

ひとつの時代が終わろうとしている。戦後日本の混乱期の中から生まれた創価学会は、日蓮正宗の信徒団体として本尊と教義を利用し、現世利益と広宣流布という名の天下取りを旗印に、軍隊方式を採り入れて強引に組織拡大を計った。成長期にあった世の中で政党や大学、新聞社や営利企業グループ、文化団体など、あらゆる方面に手を広げて、昭和五十年前後にその絶頂期を迎えた。

ところが、その拡大が頭打ちになった頃から、独自路線をめざして宗門支配を強めてきた。小生が批判論文を書いた当時は、宗務役僧らの大半が懐柔と身辺調査によって威圧され、日蓮上人ですら学会の圧力に日々神経をすり減らされているような時期であった。

図らずも、このことが言論弾圧事件となって、宗門と学会の両教団のはざまで、その矛盾や謀略性を知ることとなり、同憂の士と正信覚醒運動をおこす契機となった。二十代だった青年僧等に何の成算があったわけではない。政治力の動向によっては、後から鉄砲で打たれるような状況でもあった。ささえは正しいことをしているという信念のみ、それと、どのような謀略や言論操作をしてみても、永年にわたって多数の人々をだまし続けることはできない、真実は必ず世に現れるとの確信であった。

爾来三十余年、法華講中の人々とともに、宗門とも袂を分かって一筋に正信の道を行ってきたが、ようやく宗門や学会の虚構が白日の下にさらされ、永年降りつもった過去の罪業に彼等は自ら裁かれる時が来ようとしている。学会本部での吊し上げ事件に際して、辻、野崎、原田等大幹部と売僧阿部師の前で、小僧は「歴史が証明する」と言い置いてきたが、権力に翻弄される人々をみて、いまとなつては気の毒な気がしている。

それとともに、富士日興門流の再生のために、与えられた力を振り絞ってご奉公せねばとの念いがつのる昨今である。「仏法は体のごとし、世間はかけのごとし。体曲がれば影なめなり。」との遺誡を肝に銘じて。

身延の沢を

まかり出て候こと

面目なさ、本意なさ、

申し尽くし難く候へども

打ち返し案じ候へば、

いつくたても聖人の御義を

相継ぎまいらせ候て、

世に立て候はん事こそ

詮にて候へ

日興上人「原殿御返事」

【昭和15年】（一九四〇）

1・12 秦俊明師逝去、細井精道師（日達上人）兼務住職となる



秦俊明師



昭和15年頃の日達上人（和田家葬儀の時）

【昭和33年】（一九五八）

11・13 源立講、本因妙講、久代講を解散し、法華講源立寺支部を結成。山

田安次郎氏講頭となる

【昭和35年】（一九六〇）

5・23 浅井師、下の坊へ転任、高玉広応師住職に就任



日淳上人（左）と浅井広竜師



左から、高玉広応師、山田講頭、古江副講頭

【昭和37年】（一九六二）

2・15 現本堂、庫裏再建落慶、日達上人御親教

慶讃文

願在此の功德を以て普く一切に及ぼし我等と衆生と皆共に仏道を成さんと

仰ぎ願はる本佛日達大聖人大慈大悲の將護を重礼給ひ

我等が微志を哀愍取受し

給はんことを

昭和三十七年二月十五日

日達正宗總本山 日達
第六十六世嗣法

敬白

本堂・庫裏再建落慶法要の際の慶讃文

10・6 第1回法華講総会

【昭和48年】（一九七三）

4・7 山田講師頭辞任、古江正義氏講師となる

【昭和50年】（一九七五）

11・18 高玉広応師逝去
12・18 向島秀浩師住職に就任



向島秀浩師

【昭和52年】（一九七七）

S1・15 創価学会在家中心の独自路線を発表



独自路線を打ち出した聖教新聞

1・20

学会、菅野憲道師の批判論文に対し吊し上げ。以降批判的僧侶を次々吊し上げる

5・30

千葉県涌化寺にて佐々木、丸岡、荻原、児玉、菅野が集い、運動を起す。

9・2

本山にて阿部 部 長は「池田先生の教学は完璧です」と語り、批判派をつぶしにかかる

12・16

活動家僧侶、源立寺にて初会合。この頃から正信覚醒運動活発になる



学会の接待の一コマ

【昭和53年】（一九七八）

1・30 活動家僧侶、源立寺にて会合
2・22 大石寺にて時局懇談会、学会の協調案に紛糾。



週刊文春の記事

8・26〜27

第1回全国大会 大石寺大講堂（岡本昌道師執事）



第1回全国檀徒大会（大石寺大講堂）

【昭和54年】（一九七九）

1・27〜28 第2回全国大会（大石寺大講堂）



第2回全国檀徒大会（大石寺大講堂）

2・25 初の源立寺檀徒総会を開催



第1回源立寺檀徒総会

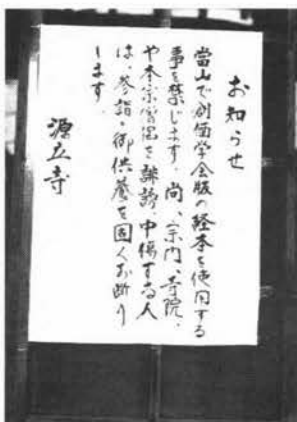
3・13 向島秀浩師逝去



向島秀浩師の本通夜

3・31 法華講連合会、池田氏に総講演辞任勧告

4・16 菅野憲道師蓮生寺より源立寺に転任。早速本堂玄関に「お知らせ」をはる



お知らせの掲示

4・26 入院式、引き続き妙昇阿秀浩房七日忌法要



菅野憲道師の入院式

5・3 池田大作、総講演・会長辞任



辞任会見

5・20 第9回源立寺法華講総会

7・22 日達上人逝去(同日、阿部信雄師相承を詐称して法主に就任)



日達上人の葬送

8・25〜26 第3回全国檀徒大会 大石寺

大講堂 檀徒登山

10・8 院達にて正信覚醒運動を抑圧

この頃 阿部師は学会に頼り、正信会を追放することを決意。見返りに多数の新寺建立と資金、人の提供を受ける



池田氏に頼って地位を守る阿部師

12・2 源立寺檀徒臨時総会

12・8 午後一時より、源立寺にて全国活動寺院会

動寺院会

【昭和55年】(一九八〇)

1・26〜27 第4回全国檀徒大会 大石寺

大講堂 席上、阿部師は池田大作を擁護し学会批判を禁止する

3・5 「正道」創刊(講報の前身)



『正道』創刊

3・6 向島師一周忌



向島秀浩師第一周忌法要

5・18 第10回法華講総会



第10回源立寺法華講総会

6・3

宗務院の圧力により法華講連合会総辞職

7・20

第2回源立寺檀徒総会・日達上人第一周忌法要



日達上人第一周忌法要

8・24 第5回全国大会 東京・日本武道館



第5回全国檀徒大会(武道館)

9・25 懲戒処分、正信会201名処分、五人擯斥、菅野住職降級

10・25 本堂玄関廊下増築完成



工事中の本堂玄関

11・7 国会請願デモ・署名提出



国会誓願デモ

11・22 第1回法華講入講式 池田市民文化会館 午後6時より 講演：涌

化寺丸岡文乗師



第1回法華講入講式

12・7 第1回南近畿法華講大会 藤井寺市民会館

【昭和56年】(一九八一)

1・21 正信会、阿部師の職務執行停止を提訴。

1・28 正信会住職百数十名、阿部師の宗会支配に抗議のため登山



抗議登山は、学会青年部のピケに阻まれる

2・19 この頃から、毎月19日会(僧侶の勉強会)を源立寺にて開催

2・22 午後3時から、正信連合会結成式

・蓮華寺

3・12

自民党議員・創価学会の社会的不正を糾す会と合同総会(於党本部)



党本部での自民党議員との合同総会

4・1

山崎潤道師執事となる(守口覚仁寺住職が転向して追放される)

5・31

第6回全国大会 東京国際貿易センター

7・18

北条浩氏死去(58)・創価学会会長



北条浩氏の葬儀

7・20

門真布教所開所式(岡本昌道師赴任)



門真布教所開所

8・28

31

房総・伊豆・鎌倉聖跡研修旅行 69名(小湊蓮生寺・清澄・伊豆・鎌倉・富士)夜行三泊



聖跡研修旅行

10・10

岡山興風談所開所式



興風談所開所

10・13

宗祖第七百遠忌遙拝登山



宗祖700遠忌遙拝登山と、ガードを固める宗門・学会



11・3 第2回南近畿法華講大会・池田市

民文化会館「護法」「宗開両祖にかえれ!・折伏こそ正信の道」



第2回南近畿法華講大会(池田市)

11・21〜22 宗祖第七百遠忌法要を奉修、

行道散華・自我偈訓読



三師塔前での読経

【昭和57年】(一九八二)

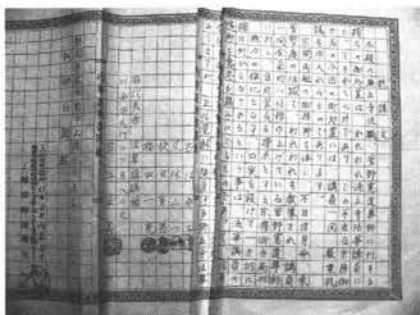
2・8 早朝、佐藤・尾花氏・学会弁護士・青年部等、菅野住職に擯斥処分通告に訪れる。



擯斥処分通告に訪れた宗門側僧侶他

2・23

古江講師ほか法華講役員連名で阿部日頭師宛抗議文を送付。多数署名



不当処分に抗議文を送付

12・1

法華講講報を復刊。以降平成5年8月号まで断続的に続く



源立寺法華講々報



七百遠忌での行道散華

抗議文

一般の源立寺住職、菅野憲道尊師に対する攘斥の御処置は、われわれ源立寺法華講員にとつても全く心外であり、この不当な宗務御当局の今回の御処置には、講員一同、嚴重抗議を申入れるものであります。

宗開両祖の御精神を体し、不自惜身命、未曾暫廢の活躍で、われわれを教導され、講員一同全面的に信頼申上げている菅野憲道尊師に対し、自称管長を頂点とする宗務御当局が、権力の権化となり、口実を設けて一方的に攘斥処分をなされるという事は、法華講員の信仰も意志も踏みにじるものであつて、信者不在の宗務行政とも言うべく誠に憤慨にたえません。

法人法上、創価学会は日蓮正宗に非ざる教団であります。一方われわれ法華講は日蓮正宗に直屬し、日蓮正宗と運命を共にして来た歴史的にも正真正銘の信徒団体であります。しかるに今創価学会の利益を優先してその指導者達の謗法不正を容認し、我々の存在や意志を無視し且

つ正しい道念を圧殺されるが如き非道の御処置には何としても承服出来ません。

日蓮正宗は宗務御当局の私物ではない筈です。日蓮正宗は日蓮正宗僧俗すべての人達のものであります。しかるに、宗門三分の一にもぼる多数の僧侶及び法華講員を弾圧し処分して宗内を混乱させているとなれば、自らの行政責任も又問われるべきではないでしょうか。

信徒の我々が、このような抗議をしなければならぬような事態は全く異常であり、一日も早く今回の御処置を撤回せられ、正常な宗務行政の恢復に努められますことを講員一同切望するものであります。

御開山上人の御精神に学び、今こそ祖道の恢復を図るべき重大な時機に当り、潜越ではあります、正信覚醒に・身する源立寺法華講員一同は、宗務御当局の猛省を促し、今回の御処置に抗議し、速やかにこれを撤回せられるよう、要望致します。

昭和五十七年二月二十三日

山田安二郎 古川吟市
大幸一郎 西田操子

右代表者 法華講講師

川西市久代二丁目八ノ九

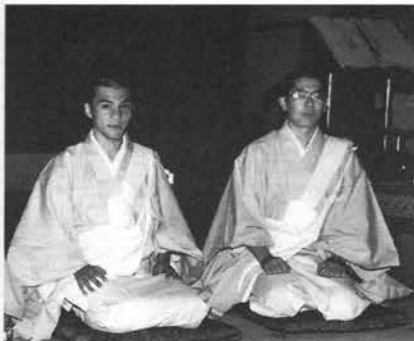
古江正義

静岡県富士宮市上條二〇五七

阿部日顕殿 (他多数署名)

3・6 坂井信登君(中三)、12・18には渡

辺信朝君が大石寺から追放され、
当寺に在勤



信登君(左) 信朝君が在勤

3・6・9

佐渡聖跡研修旅行



佐渡聖跡研修旅行

7・31

第1回夏期修養会
滋賀県妙静寺
にて開催



信仰は子供から～夏期修養会はじまる

10・10

阿部宗門、正信会所属の檀信徒を
登山禁止に続いて資格停止と通告



『大日蓮』の号外

11・3

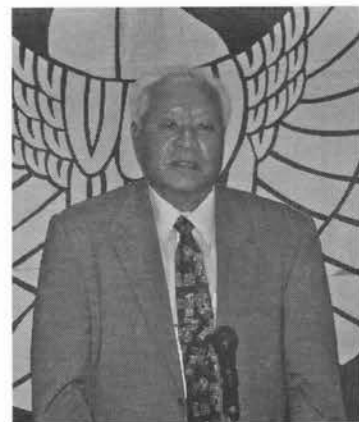
役員研修会
興風談所にて役員研
修会を実施



蜜月時代の二人・机上には多額の御供養

【昭和58年】（一九八三）

3・13 古江氏講頭辞任、尾林氏講頭代行
に就任



尾林弘三氏

4・2

この頃、原田知真君（小六）在勤



知真君、衣免許の時

6・2

第8回全国法華講大会 大阪厚生
年金会館。住職、全般の企画構成
とスライドを制作



第8回全国大会

11・3

初の地区総会開催



【昭和59年】（一九八四）

1・ 池田大作総講頭に復帰



桜を切って屋内で花見をする二人

4・14〜15 研修旅行 興風談所（本堂建
築中）・倉敷仏道寺

5・27 第9回全国大会 愛知・名古屋市
民会館 50名・バス往復。帰途天
奏寺参詣。住職スライドを制作

奏寺参詣。住職スライドを制作

6・17

興風談所本堂落慶



新築された興風談所本堂

7・1〜2 役員研修開催（於能勢簡保セン
ター）、住職講義「源立寺法華講
のめざすもの」

のめざすもの」



役員研修

8・22～24 第3回 修養会 丹波興福寺にて開催49名

12・2 第1回関西正信連合会 万博記念館 (万博ホール) 「関西は一つ」 1500名



第1回法華講関西大会

【昭和60年】(一九八五)

1・27 一日講習会 初の一日講習会を開催 住職講義・原島氏講演「創価学会の運動を振り返って」

4・28 第10回全国大会 東京・日比谷公会堂



第10回全国法華講大会

5・7月 第1回行学研修会①② 滝野大

蓮寺二次40名。住職講義「自我偈大意」・池田師



第1回行学研修会

6・2

第15回法華講総会 御宮殿奉納式並びに第15回総会。講演松阪市報 恩寺秋山徳道師。尾林氏講頭に就任



新たに奉納された御宮殿

11・24 第3回南近畿教区大会 蓮華寺本

堂「躍進」「広宣流布の使命に立
とう・講中一丸となって折伏を」



第3回南近畿法華講大会

【昭和61年】(一九八六)

3・20 坂井信登君・渡辺信朝君在勤解除

・大学進学のため東京の寺院へ

5・2〜3 四国研修旅行 讃岐本門寺・

坂出簡保センター



讃岐本門寺本堂

5・18 第11回全国大会 小倉・九州厚生

年金会館 10名

7・1 この頃 福島源治郎、池田大作を

批判

7・8月 第2回行学研修会①② 興風談

所 40名 住職「勤行の法門」、

山上師・大橋師

8・19〜21 夏期修養会 源立寺および能

勢キャンプ場



夏期修養会

9・14 山崎潤道師五条へ転任 28日開所

式

11・30 五条出張所参詣

【昭和62年】(一九八七)

5・17〜21 第12回全国大会 札幌市民会

館 北海道研修旅行43名



第12回全国大会

6・7月 第3回行学研修会①② 篠山興

福寺40名。住職「宗教深秘抄」・

大谷師・山上師

12・6 第4回南近畿法華講大会 和歌山

妙海寺90名「求道」



第4回南近畿法華講大会

【昭和63年】（一九八八）

4・1 小平周徹君在勤

5・11 第13回全国大会 神戸ポートアイ

ランドホール 380名



第13回全国大会

6・7月 第4回行学研修会①② 篠山興

福寺40名。住職「宗教深秘抄」・

池田師・菅原師



第4回行学研修会

7・1 成田詳道師、源立寺執事となる



成田詳道師

8・22〜24 夏期修養会 源立寺・能勢キ

ヤンプ場 25〜27日宿題学習会

11・27 一日講習会 住職「信力行力」、

上地協道師「仏の父母」、原島氏

「講演」



講演する原島氏

12・12 広基寺御宮殿修復



広基寺の御宮殿

【平成1年】（一九八九）

3・20 原田知真君高校卒業、大学進学のため東京の寺院に在勤替え

住職、継命にて本門寺問題連続キ

ヤンペーンを企画執筆

5・15



継命に連載されたキャンペーン記事

5・21～23 第14回全国大会 松山・愛媛
県民文化会館



第14回法華講全国大会

7・2 婦人部総会 住職講義・狂言鑑賞
(大和座安東氏)

8・24～26 夏期修養会 源立寺・仁川青
年の家

11・25～26 南近畿教区一泊研修会 和歌山

・加太国民休暇村200名(35名)
講演川井泰円師、住職「現状と

今後」

【平成2年】(一九九〇)

2・16 大阪地裁判決、双方却下

3・8 平井年春氏逝去(73)・副講頭



平井年春氏の葬儀

3・11 本門寺問題抗議登山代表500名



本門寺問題抗議登山、尾林氏他2名代表参加

4・1 橋本義一氏副講頭になる。

5・1 宗門側、西宮正蓮寺住職死去に際し、御本尊仏具等差し押さえ



御本尊差し押さえの愚挙

6・10 第20回法華講総会 記念総会

7・14～15 第五回行学研修会 興風談所

・国民宿舍岡山桃太郎・閑谷学校



第5回行学研修会

9・1 この頃から、阿部宗門と創価学会
の関係が険悪化

12・27 池田氏の総講頭を事実的解任

【平成3年】（一九九一）

3・8 向島秀浩師十三回忌

8・24～25 関西正信連合会講習会 滋賀

琵琶湖グランドホテル360名

「日興門流は我等！ 富士の教義を学ぼう！」

12・15 阿部宗門、創価学会に破門通告

【平成4年】（一九九二）

4・15 本堂の天蓋を新調

4・29 坂井信登師・渡辺信朝師源立寺にて新説式 源立寺150名



晴れて信登師・信朝師が新説式を挙行

5・17 第17回全国大会 広島市国際会議場



第17回法華講全国大会

7・18～19 第6回行学研修会 能勢簡易保険センター



第6回行学研修会

11・29 第6回南近畿法華講大会 源立寺

本堂 350(80)名 パネル討論会「正信とは」

【平成5年】（一九九三）

5・23 第18回全国大会 青森・青森市民会館



第18回法華講全国大会—奥入瀬溪谷にて

7・20 寺院明け渡し等、大量処分事件他
最高裁判決、宗教紛争として双方
却下

9・25～26 南近畿教区一泊研修会 滋賀近

江八幡国民休暇村 180(45)名



南近畿教区一泊研修会

11・1 本堂須弥壇を新調、4日納入 受

付等フローリング改修



内陣・須弥壇の改修工事

【平成6年】(一九九四)

1・28 佐渡研修旅行(7名)



佐渡研修旅行

8・27 佐渡研修旅行・青年部一般

11・27 南近畿法華講研修会 豊中市民会

館285(83)名 6時限講義池田

師・菅野住職他、「いのち炎やさ

む」奥はつさん



奥はつさん(当時88歳)

【平成7年】(一九九六)

1・17 阪神・淡路大震災 21日屋根瓦降

ろし 28日修復委員会



屋根瓦降ろし 1.23



本堂天井裏での作業・北村氏と梅本氏 2.9



野地の解体作業 4.18



『恵日』創刊号

3・1 寺報「恵日」創刊、現在184号
まで続く



姿を現した真新しい屋根瓦の本堂 7.30



瓦を載せるのももう近い 5.26

10・10

五条妙観院落慶



源立寺修復工事の妨害を企てた宗門側。右から三人目佐藤氏

9・27

宗門側佐藤慈暢、工事続行禁止等の仮処分を提訴 審尋5回終結 継命(8・1・1) 勝訴報道



9月中旬、大客殿の解体が始まった

8・23

大石寺大客殿解体再建を発表 法要並第25回法華講総会

7・16

第25回法華講総会 本堂修復記念

【平成8年】（一九九六）

5・12 修復落慶法要並第26回法華講総会

講演津市経住寺古川興道師、終了
後には祝賀会も催された



盛大に奉修された修復落慶法要並法華講総会



工事関係者に住職より感謝状

5・26

第20回全国大会 東京・日比谷公会堂(38)房総聖跡研修旅行(30)・蓮生寺・妙本寺



蓮生寺山門にて

6・26

婦人部総会 大蓮寺・永沢寺菖蒲園



大蓮寺に参詣した婦人部総会

9・16

第7回行学研修会 能勢簡保セン
ター



第7回行学研修会

11・24

南近畿法華講研修会 アピオ大阪
小ホール 200(45)名 宮崎智
和氏発表



南近畿法華講研修会

【平成9年】(一九九七)

3・31 山門・脇玄関トイレ棟・塀・造園
等修復事業を完了

9・6〜7 一泊研修会(第八回) 神戸し
あわせ村 (54名)



第8回一泊研修会

11・30 関西婦人部大会 アピオ大阪

「青少年の育成」300名(27名)
(法華講代表発表会)

【平成10年】(一九九八)

5・17 第22回全国大会 千葉市・千葉県
文化会館 住職講演「正直の宗
旨」 25名参加



第22回全国大会で講演する菅野住職

6・14 第28回法華講総会
講演「下道貫法師

5月頃 大石寺、正本堂の解体を始める



無残な姿をさらす正本堂解体現場

8・26 竹入元公明党委員長、朝日新聞に

回顧録を公表

10・3 橋本義一氏逝去(86)・副講頭



故橋本義一氏

【平成11年】（一九九九）

6・23 婦人部総会 明石神通寺、神戸布引ハーブ園・明石大橋見学
(45)

(45)

7・1 住職、『正信覚醒運動のめざすもの』を発刊（継命新聞刊）



11・28 南近畿法華講研修会 大阪社会福祉会館大ホール 200(58)名

講義桑原知子女史・乙骨正生氏



南近畿法華講研修会

【平成12年】（二〇〇〇）

5・21 第24回全国大会 北海道・札幌市民会館（12）19～21日執事



第24回全国大会

6・11 第30回法華講総会、一人一誓願・講演熊谷市源流院・坂井信登師

「悪しく敬うなかれ」。原田・渡辺・岡本・山崎師参列



第30回法華講総会

【平成13年】（二〇〇一）

5・20 第25回全国大会 奈良市・なら一〇〇年会館。住職、大会・展覧会を企画、制作



第25回全国大会々場入口



パネルディスカッション



講中も制作や会場スタッフを担当

6・10 第31回法華講総会 一人一誓願・

聖人展ビデオ

7・17 婦人部総会 滋賀妙静寺・琵琶湖

博物館・草津本陣



草津本陣にて

10・6〜8 日蓮聖人の世界展大阪展

天満OMMビル 全国各地で巡回展(全国16カ所を巡回)



大阪展会場 10. 6



東京展会場 7・9月

【平成14年】(二〇〇二)

6・2 立宗七五〇年法要並び第32回法華講総会 立宗七五〇年法要(晝替え)



立宗750年慶讃法要での行道散華

立宗七百五十年 慶讃法要

法要次第

- 一 献 膳
- 一 誓 願 奉 獻
- 一 読 經
- 一 焼 香
- 一 慶 讃 文 揚 讃
- 一 自 我 傷 訓 談
- 一 行 道 敷 茶
- 一 唱 題

以上

※日時 平成十四年六月二日(陽暦四月廿八日)
 ※場所 大坂府池田市 慧日山講立寺
 ※午後一時より奉賛

慶讃法要の式次第



一人一誓願・各自の誓願を御宝前にお供え



散華



松ヶ崎にて

【平成15年】(二〇〇三)
 5・18～20 第27回全国大会 新潟市・新潟市
 鴻テールサ 30名・佐渡研修旅行

7・28 児童修養会 本堂
 9・29 関西正信連合会 京都国際見本市
 (稲盛ホール600名(28名))



和歌山城にて

7・18 婦人部総会 和歌山妙海寺・和歌山城・マリーナシテイ



上高地河童橋にて

【平成16年】(二〇〇四)
 5・16～18 第28回全国大会 岐阜市・長良川国際会議場 上高地



南近畿法華講研修会

11・23 南近畿法華講研修会 阪南パラダイム 180名 山上・大谷・坂井法暉師

8・20
修養会



興風談所にて

7・15 婦人部会 興風談所・倉敷美観地区



第29回全国大会（仙台サンプラザ）

5・22～24 第29回全国大会
【平成17年】（二〇〇五）

11・28 南近畿法華講研修会 エルおおさ
か「医療と信仰」216名



AEDの救命訓練

4・16 一日研修会 防災・防犯・救命訓練



故北村忠雄氏

【平成18年】（二〇〇六）
2・13 北村忠雄氏逝去（78）・前副講頭



故古江正義氏

8・25 古江正義氏逝去（82）・前講頭の参詣と挨拶しての別れであった
7月度お講に太鼓をたたき、最後の参詣と挨拶しての別れであった



第30回全国大会・館山寺
平成18年5月22日 館山寺霊殿九重

5・21～22 第30回全国大会 富士市文化会館・ロゼシアター 館山寺・奥山

10・27 婦人部総会 (10・14事前学習会)
叡山定光院と草津宝蔵寺



比叡山定光院にて

【平成19年】(二〇〇七)

5・20 第31回全国大会 神戸文化会館・
大ホール

10・18 婦人部研修 篠山興福寺・黒豆採り



黒豆採りに挑戦

【平成20年】(二〇〇八)
5・13 矢野元公明党委員長、創価学会を
告訴



会見する矢野紵也氏

5・18 第32回全国大会 鹿児島市民文化
ホール



第32回全国大会

5・24 熊谷市源流院落慶入仏式(坂井信登
師) 住職講演
7・5 和歌山行道寺落慶入仏式
8・16 修養会 ラーメン作り



日清ラーメン館・ラーメン作り

10・18 一日研修会・婦人部総会



寺田屋前にて

11・23 南近畿法華講研修会 広宣寺



南近畿法華講研修会

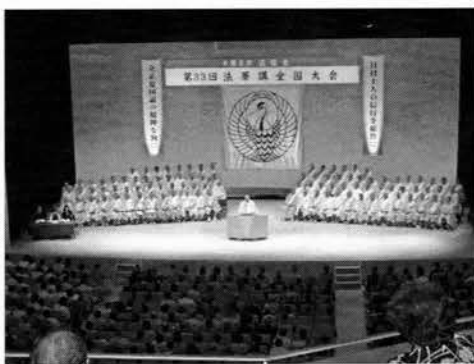
【平成21年】(二〇〇九)

1・3 成田詳道師、継命新聞社に転任
4・20 藤村道監君在勤



藤村道監君

5・17 第33回全国大会 三原市芸術文化ホール



第33回全国大会

6・14

第39回法華講総会 講演渡辺信朝
師「地道に歩む」

8・22

少年部修養会



そーめん流し

10・17 一日研修会・婦人部会

国立京都博物館「日蓮聖人と法華の美術」展・山科妙教寺



国立京都博物館前にて

10・30

本堂畳替え

【平成22年】(二〇一〇)

1・1 元朝勤行



元朝勤行で挨拶をする菅野住職



平成22年1月1日